

市民参加型地域・民主主義の重要性

地域住民が主役の自治体へ： 杉並区の事例から考える

「選挙だけが民主主義じゃない」日常から政治とつながる、新しい視点を学びませんか？

杉並区では、2022年6月19日の区長選挙で、市民の力により新しいリーダーが誕生しました。「公共」を住民の手に取り戻す、そのプロセスと学びを、私たちの地域に活かすヒントとして共有します。

NPO アジア太平洋資料センター(PARC)共同代表
岸本聡子杉並区長 元選対本部長、現・政務責任者

内田 聖子 氏

日時

2025年 7月27日(日)
14:00～16:00

会場

上尾市立富士見小学校 大会議室

上尾市柏座4丁目3-8(上尾駅西口徒歩 10 分)

※駐車場に限りがあります。公共交通機関をご利用ください。

定員

60名程度

参加費

無料こちらのメールアドレス(QRコード)か
事務局電話(留守録対応)からお申し込みください

講師プロフィール

現在 NPO アジア太平洋資料センター(PARC)共同代表。TPP などの貿易問題や水道民営化問題、デジタル監視・管理社会の問題などに取り組んできた。PARC 自由学校の講座コーディネイター。

2022 年の杉並区長選では選対本部長を務める。

編著『日本の水道をどうする!? 民営化か公共の再生か』コモンズ(2019 年)

『デジタル・デモクラシー: ビッグ・テックを包囲するグローバル市民社会』地平社(2024)他。